

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 23 年 9 月 15 日 (2011.9.15)

【公開番号】特開 2010-259070 (P2010-259070A)
【公開日】平成 22 年 11 月 11 日 (2010.11.11)
【年通号数】公開・登録公報 2010-045
【出願番号】特願 2010-98348 (P2010-98348)
【国際特許分類】

H 0 4 M 3/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/56

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 3 日 (2011.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 2 通信装置を操作する第 2 ユーザとの間の通信セッションに現在関与している第 1 通信装置を操作する第 1 ユーザから join - u s 要求を受信するステップであって、前記 join - u s 要求の所期の受信側が第 3 通信装置を操作する第 3 ユーザであるステップ、

前記第 1 ユーザから前記第 3 ユーザへの呼出しとして、前記第 3 ユーザに前記 join - u s 要求を送信するステップ、及び

前記第 3 ユーザが前記 join - u s 要求に応答する前に、前記第 1 ユーザが前記第 2 ユーザとの間の前記通信セッションに関与することを可能にするステップを備える会議開催方法。

【請求項 2】

第 1 ユーザに関連する通信装置であって、前記第 1 通信装置が、第 2 ユーザに関連する第 2 通信装置と接続するように構成され、それによって前記第 1 ユーザと第 2 ユーザとの間の通信セッションが確立され、前記第 1 通信装置がさらに、前記通信セッションに現在関与している前記第 1 ユーザから join - u s 要求を受信し、第 3 ユーザに関連する第 3 通信装置に対する呼出しとして前記 join - u s 要求を送信し、前記第 3 ユーザが前記 join - u s 要求に応答する前に、前記第 1 ユーザが前記通信セッションに関与することを可能にするように構成される通信装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の発明であって、前記 join - u s 要求の所期の受信側が、少なくとも第 4 ユーザをさらに備え、前記第 1 通信装置がさらに、前記少なくとも第 4 ユーザに前記 join - u s 要求を送信すると同時に、前記第 3 ユーザに前記 join - u s 要求を送信するように動作可能である発明。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 記載の発明であって、前記第 1 通信装置がさらに、前記通信セッションに関するダイアログ情報を取り出し、前記 join - u s 要求内に前記ダイアログ情報を含めるように動作可能である発明。

【請求項 5】

請求項 4 記載の発明であって、前記ダイアログ情報が、前記第 3 通信装置が前記通信セ

セッションのダイアログイベントに加入することを可能にし、前記ダイアログイベントに加入中に、前記第3通信装置が、前記第3ユーザが前記join-us応答入力を選択したことを判定し、前記通信セッションの状態を判定し、前記第1ユーザへの呼出しを開始するように動作可能であり、前記通信セッションがアクティブな状態にあると判定され、前記ダイアログ情報が、前記第3ユーザから前記第1ユーザへの前記呼出しを開始するのに使用され、ダイアログ情報が、ブリッジ識別情報、参加者コード、パスワード、前記第1ユーザに関連する連絡先情報、前記第1参加者と第2参加者のうちの少なくとも一方に関する情報、及び前記第2ユーザに関連する連絡先情報のうちの少なくとも1つを備える発明。

【請求項6】

請求項1又は2記載の発明であって、前記第3通信装置がさらに、前記第3ユーザから前記join-us要求に対する応答を受信し、前記通信セッションがアクティブな状態にあるかどうかを判定し、前記第1ユーザへの通信を準備し、前記通信セッションがアクティブな状態にあるかどうかの判定に基づいて前記通信を調整するように動作可能である発明。

【請求項7】

請求項1又は2記載の発明であって、前記第3通信装置がさらに、前記通信セッションに関する状態情報に加入し、前記通信セッションの状態が第1状態から第2の異なる状態に変化したことを判定し、そのような判定を行ったことに応答して、前記join-us要求を変更して、前記通信セッションの状態の変化を反映させるように動作可能である発明。

【請求項8】

請求項1又は2記載の発明であって、前記第1通信装置がさらに、前記着呼がjoin-us要求であることを前記第3ユーザに示す特殊警報を第3ユーザに対して準備するように動作可能である発明。

【請求項9】

請求項13記載の装置であって、前記第3ユーザに関してカバレッジタイマが作動した後、前記join-us要求がカバレッジに送信され、前記join-us要求に対する可能な応答オプションが、前記join-us要求が送信されたカバレッジのタイプに基づいて調整され、前記カバレッジタイプがボイスメールを備え、前記ダイアログ情報がボイスメール内に取り込まれ、格納され、それによって、前記join-us要求に対する応答が前記第3ユーザから受信されたとき、前記第3通信装置がボイスメールにブリッジされる発明。

【請求項10】

プロセッサによって実行されるとき、請求項1記載の方法を実行するように動作可能なプロセッサ実行可能命令を備えるコンピュータ可読媒体。